

どうも週明け月曜日は天気がよくない。そう思いませんか。

4月最終週に入りました。4月25日から通常ならばゴールデンウィークであり、心ウキウキとなるところですが、今年は「ホームステイ週間」です。ともかく「家にいましょう」、「命を守るホームステイ週間」です。

さて今日テレビを見ていたら、『「密です」ゲーム』についての説明がされていました。そもそも『「密です」ゲーム』たるものがなんだかわからなかった私です。テレビの説明で初めて内容がわかりました。

先日、小池都知事が、知事の近くに寄ってきた記者に対して「密です。密です。…」と何度も言って、記者に離れるように言っていたのはテレビで見ていたので知っていました。このことをもとにして、大学院生が作ったゲームが『「密です」ゲーム』だったんですね。小池都知事が着ていらっしゃるスーツと同じようなスーツを着た女性が、路上などで集まって何かしている人たちに、「密です、密です。」と言ってその集団を離していくというゲームです。空も飛べるそうです。なるほどこういうゲームだったのかと初めて知りました。

それにしても、このゲームを制作した大学院生はすごい。あの小池都知事が「密です。密です…」と言っていたのを見て、このようなゲームを思いつくのですから。発想力が豊か。よくこんなこと思いつくものだと感心してしまいました。普通の人はそのゲームには結びつかない。「ひらめき」があったのですね、この制作者には。誰にも「ひらめき」はあると思います。このひらめきの力を開花させるのは、いろいろなことに興味を持つこと、好奇心旺盛であることなんじゃないかな、と思います。

今自分で好きに使える時間はたっぷりあります。自分の周りをじっくり見てみると何かひらめくかもしれませんよ。

このゲームはまだ進化するようです。楽しみです。

七中生へのメッセージ（4月27日）

長い休校期間、どのように過ごしていますか？

私は、先が見えないって、こんなに不安で、心がザワザワすることなんだな、と実感しています。皆さんも同じような心境ではないかなと思います。何かをやらなければいけないのはわかっているけれど、どうやったらいいのかわからない。そんな感覚ではないでしょうか。

そんな時、この不安感や焦燥感、孤独感が、初めて感じたものではないような感覚にも思えてくるのです。この感覚…受験生たちが感じる感覚に似ていると思うのです。つまりこの休校期間に経験することは、中学校生活の最後に生きてくる経験になるということです。逆に考えれば、過去の受験生たちが、どうやってこの期間を乗り越えてきたかということがわかれば、この期間を充実したものにすることができるのです。受験生たちは目標を見定めて、計画的に目の前のことをやりきることで、不安や焦燥を和らげながら、受験気を乗り越えていました。つまり、「不安は行動することでしか和らげられない」ということです。

毎日少しずつでもやるべきことを決め、やりきる習慣をつけることで、本格再開した時に、しっかり力をつけて自信にあふれた皆さんの顔を見れることを楽しみにしています。

（ 1 ）年（ 渡邊 拓 ）